

エム

ユー

ネクスト

Minami Uonuma NEXT 次世代につなげる企業からのメッセージ

シリーズで、市が誇る優れた技術や人物などを有する企業を紹介します

シリーズ⑨

高速紙工業株式会社

〒949-6797 南魚沼市津久野1112番地14
☎773-5300 FAX 773-3304

印刷から製本まで大量生産で対応

昭和58年に当工場が竣工しました。当時、創業者である代表取締役会長の梅田氏は埼玉で印刷工場を営んでいましたが、もともと南魚沼出身の社員が多かったことから、首長の要請を受けて津久野工業団地に新会社を設立しました。早期からバリアフリーを導入するなど、さまざまな人が働きやすい環境を整備しています。

創業当初はカラオケの目次本が主流でしたが、現在はレジのレシートや宅配会社の不在票、公営競馬に使われるマークシートなど幅広い製品を生産しています。

特に、宅配会社の不在票は、毎週4～5万冊を印刷しています。不在票などの担当者ごとに表記が変わるような製品は、細心の注意を払う必要があり、高品質のものを大量に作り上げる技術が求められます。

現在は130人の社員が働いており、長年勤務している社員や女性社員も多くいます。令和2年度からは、社員が仕事以外にもつながりや楽しみを持てるような取り組みを始めていきたいと考えています。市が行うイベントやセミナーなどさまざまなことに積極的に取り組み、高速紙工業の名を多くの人に知ってもらいたいと思います。



工場内の機械や製品を説明している様子

今の仕事や職場について語っていただきました



次世代をつなぐ職員 田鍋保昭さん

市長 この会社で働くきっかけは？

田鍋 大学生の時に、合同説明会でこの会社を知りました。たまたま同級生が入っていたので、実際の状況を教えてもらい、入社を決めました。

市長 どんな仕事をしていますか？

田鍋 現在13年目で、ずっと情報を印刷物に付加する仕事を担当していました。本年度から印刷そのものを担当しています。今までにない技術が必要になり自分の腕が試されています。学んだことが成果に



結びつくと、やりがいを感じます。

市長 どんな人に向いていると思いますか？

田鍋 私は大学の工学部で学びました。機械と向き合って1人で黙々とやる作業が多いです。機械を扱うので理系の人に向いていると思います。

市長 会社の魅力は？

田鍋 新入社員や市外からきた人に対して、気を配って受け入れているところです。温かい人が多いところが魅力だと思います。

市長 市に対する意見などはありますか？

田鍋 若者は、地方特有の付き合いを煩わしく感じるときがあると思います。町内のことに負担なく参加できるようになれば、若者も地元に残りやすくなるのかなと思います。

市長 若者の人との付き合い方の価値観が変わってきていると思います。簡素化した方が良いと感じるところもあるので、取り組めるところから環境づくりを見直していきたいと思っています。

企業募集中 掲載を希望する場合は、商工観光課 商工振興班 (☎773-6665) にお問い合わせください。